

平成29年度 活動報告

「なにわエコ会議」は、平成16年6月に発足し、市民、環境NGO/NPO、事業者、学識経験者、行政が一体となって地球温暖化対策をはじめ、さまざまな地球環境問題について取り組んでいます。

「なにわエコ会議」の活動の柱は「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「行政の環境配慮行動の推進（環境にやさしい行政活動の推進）」を掲げています。温室効果ガス削減に関わり大阪市は「地球温暖化対策実行計画」の見直しを行い、新たな削減目標として「2020年までに2013年度比5%以上削減」に向け各種施策を推進していますが、なにわエコ会議としても、掲げた重点事項について、地球温暖化防止に向け積極的に取り組みました。また、「なにわエコ会議賞」を創設し、なにわエコ会議活動に積極的な団体の表彰を行うとともに、幅広い世代への認知度を高めるため、LINE スタンプを作成・配信しました。

- ① 各部会が連携し、さまざまな形で活動しました。
- ② 区役所主催イベントへの参加をきっかけに、当会議主催イベントへの参加を働きかけるなど相互協力を図りました。
- ③ 出前講座に加え、副読本「おおさか環境科」や「エコすごろく」などを活用し、各部会委員・会員団体が自主的に地域における環境教育・啓発活動に取り組みました。
- ④ 事業者の自主的な環境管理システムであるE A21 導入支援活動を積極的に展開しました。また、各種取組において、大阪市環境経営推進協議会と連携を図りました。
- ⑤ 平成21年度に市民団体の代表として締結した「大阪市レジ袋削減協定」に基づき、大阪市との連携を強化し、地域でのマイバッグの普及（レジ袋の削減）・ごみ減量活動などに積極的に取り組みました。また、「天神祭りごみゼロ大作戦」実行委員会に参画しました。
- ⑥ 会員団体・役員団体と協働して、なにわエコ会議全体活動及び部会活動に取り組みました。
 - ・協働取り組み件数 80 件
 - ・協働で取り組んだ延べ団体会員数 109 団体なお、「なにわエコ会議」のエコパートナー会員数は、平成29年度末現在、68個人・団体となりました。

【平成29年度重点事項】

- ① これまでの実績のある各部会の活動の強化・拡大を図りつつ、活動の機会の創出や活動メンバーの連携強化により、なにわエコ会議として活動の活性化を図ります。
- ② 「大阪市地球温暖化対策実行計画」の改定や国などの動向を踏まえ、会員団体自らの実践行動の促進など、新たな活動内容の検討を行います。
- ③ 区役所などのイベント主催団体との相互協力を強化し、環境出前講座をはじめとする地域での環境教育・啓発活動を精力的に推進します。
- ④ 地球温暖化防止に向け、市内で活動する企業と協働した取組みを推進するとともに、大阪市環境経営推進協議会と連携を図ります。
- ⑤ 会員団体・役員団体・環境活動団体・大阪市エコボランティアと協働した取組みを強化します。
- ⑥ なにわエコ会議の魅力を高め、若い世代の参加を促進するとともに、会員数や活動参加者の増につなげていきます。
- ⑦ 「天神祭りごみゼロ大作戦」に参加し、資源循環型社会の形成を目指していきます。

1 各種会議の開催

(1) 理事会及び委員総会

6月28日(水)10時～ 大阪市環境局 第1・2会議室

【審議事項】

- ・平成28年度 活動報告
 - ・平成28年度 収支決算及び監査報告
 - ・平成29年度 活動方針・事業計画(案)
 - ・平成29年度 収支予算(案)
- それぞれ、事務局原案どおり承認されました。

(2) 企画委員会

6月9日(金)10時～ 大阪市環境局 第1会議室

- (議題) ・委員総会について
- (報告) ・大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕(改定計画)の概要
- ・なにわエコウェーブ(第23号)の発行について
 - ・天神祭りごみゼロ大作戦実行委員会への参加について

(3) 企画委員会

9月14日(金)14時～ 大阪市環境局 第2会議室

- (議題) ・なにわエコ会議表彰制度について
- ・なにわエコ会議LINEスタンプについて
 - ・環境ふれあいひろば in 東住吉の開催概要

(4) 企画委員会

3月23日(金)10時～ 大阪市・八尾市・松原市環境施設組合 B会議室

- (議題) ・平成29年度の活動状況について
- ・平成30年度の活動方針案について
 - ・平成30年度の暫定予算及び事務局委託について
- (報告) ・なにわエコウェーブ(第24、25号)の発行について

2 全体活動

(1) 各種環境活動団体との連携、環境団体との交流・ネットワーク化

大阪市こどもカーニバル(4月)、なんばエコプロジェクト(7月)、区民まつり(7月:住之江区、9月:鶴見区、10月:港区)、ガレージセール・イン・OSAKA(10月)、クレオフェスタ(10月)、エコ縁日(11~12月)など各種イベントへの参加を通じ、大阪市の事業であるなにわエコライフ推進事業など環境啓発に努めています。

また、「大阪市レジ袋削減協定」に基づき、大阪市及び参加事業者と連携した「マイバッグキャンペーン」をスーパー7店舗(10~11月)において実施しました。さらに、大阪ごみ減量推進会議主催のごみ減量市民交流会に協力しました(2月)。

平成29年11月に東住吉区で開催した「環境ふれあいひろば in 東住吉」において、地元で活動している11団体と相互協力を行うとともに、大阪府主催の「温暖化適応」ものしり博士になろう!と同時開催し、相乗効果による盛り上がりもありました。

(2) 部会活動の充実と部会を横断した環境イベントの取組み

各部会の定例会議において、環境イベント等の企画・運営に部会員の意見を取り入れるよう努めました。主要イベント「環境ふれあいひろば in 東住吉」の企画運営について、各部会を横断した連携により協議・調整を行い、市民の環境活動が促進される内容の充実に努めました。

(3) 若い世代の参加の促進

「環境ふれあいひろば in 東住吉」の実施にあたっては、大阪市と協働して東住吉区内小学校、保育所、幼稚園など、児童・PTA 等を中心に広く参加を呼びかけるとともに、「大阪市こどもカーニバル 2017」「おおさか環境科：出前講座」「ガレージセール・イン・OSAKA TOWN」「ECO 縁日」「山田くん家のグリーングッドな一日」など、若い世代の環境啓発に努めました。

(4) 環境情報誌の発行

環境情報誌「なにわエコウェブ」23 号を 12 月、24 号を 4 月に各 8 千部発行しました。

(5) ICT の活用による情報発信

なにわエコ会議ウェブサイトの新着情報やツイッターを更新し、イベント開催予定や開催結果を迅速に情報発信しました。

〔アクセス数：64,682（頁）・41,284（訪問者）〕

(6) 啓発ツールの活用

平成 24 年度から小中学校の教育現場に導入された副読本「おおさか環境科」等の啓発ツールの活用を行いました。また、独自の啓発ツール「エコすごろく」を使用し、イベント等での活用を行うとともに、新たな啓発ツール（エコ紙芝居・エコカード）の開発を進めました。

また、家庭向け省エネ対策集「楽しくかしこくエコライフ」（冊子）や企業向け「電気の省エネ対策集」（冊子）を活用し、エコライフや企業の省エネの普及に努めました。

さらに、大阪府立咲洲高校の協力を得て、なにわエコ会議の LINE スタンプ「それってエコやん【関西弁、大阪弁】（24 スタンプ）」を商品化し、幅広い世代に関心を持ってもらうきっかけづくりを行いました。

(7) なにわエコ会議表彰制度（なにわエコ会議賞）の創設

さまざまな地球環境問題に関する実践行動に積極的に取り組んでいる人やなにわエコ会議の活動に積極的に参画している人などを表彰する制度を創設し、環境保全活動の推進を図りました。

平成 29 年度は、なにわエコ会議主催の「夏休み自由研究おおさか環境科」において、子供たちへの講義や工作補助などを通じた環境学習の推進に大いに貢献された、大阪市立大学の「環境保護・国際協力サークル CHOVORA!!」を会長名での表彰を行いました。

(8) なにわエコ会議参画団体との連携

① 団体会員と協働した取組み件数

平成 28 年度件数 60 件→平成 29 年度件数 80 件

協働で取り組んだ延べ団体会員数

平成 28 年度延べ会員数 103 団体→平成 29 年度延べ会員数 109 団体

② 平成 29 年度 おおさか環境科 教材編集委員会に当会議事務局長が参加・協力しました。

③ 各部会の定例会議において、部会員の意見を聞く機会を設け、団体の取組み状況の情報交換を積極的に行いました。

(9) 環境表彰の受賞

○ 平成 29 年度地域環境保全功労者環境大臣表彰：小原純子氏（なにわエコ会議 理事）

○ 平成 29 年度大阪市環境表彰：山下登正氏（なにわエコ会議 環境教育・啓発部会長）

3 部会活動

なにわエコ会議は「エコライフ部会」、「環境教育・啓発部会」、「環境に配慮した企業部会」の3つの部会があり、それぞれ定期的に部会を開催し、各部会の活動方針の決定や主催あるいは参加イベントについて議論し、充実した活動につなげてきました。

(1) エコライフ部会

① 活動概要

家庭向け省エネ対策集「楽しくかしこくエコライフ」(冊子)の普及に努めるとともに、地球温暖化や省エネルギー、食の安全・安心をテーマにしたセミナーや見学会の実施、マイバックキャンペーンによるレジ袋削減に取り組むなど、エコライフの提案と実践をアピールしてきました。

○ マイバックキャンペーン(レジ袋削減キャンペーン)(11~12月の延べ7日)

イトーヨーカ堂あべの店、阪急オアシス姫島店、イズミヤ福町店、おおさかパルコープ粉浜店、ダイエー東三国店、イオン大阪ドーム店、ライフ西天下茶屋店

(合計7店舗)(環境局、事業者、環境教育・啓発部会)

レジ袋削減協定締結スーパーにて、マイバックの配布などレジ袋削減に向けた普及啓発活動と生ごみ3きり運動、アンケート調査を実施

(例) 質問: レジ袋をもらう理由は何ですか?(複数回答可)

- ・エコバッグを持っていない (15.4%)
- ・エコバッグを忘れた時 (26.0%)
- ・エコバッグに入りきれない時 (15.4%)
- ・無料配布の時 (10.0%)
- ・ポイント等特典がない時 (2.9%)
- ・ごみ袋として利用 (28.9%)
- ・レジ袋有料店舗で使用 (4.3%)
- ・もらわない (37.7%)
- ・その他 (1.7%)

○ エコライフセミナーの実施

・「省エネ最新技術とエコライフセミナー」(3/15 ダイキン工業、ダスキン)

(内容) ・エアコンをはじめとする最新のテクノロジーを学ぶ

・お掃除の歴史・文化を学ぶ

・ドーナツの手作り体験

・「おいしい! あんぜん! 捨てる場所がない! 野菜を訪ねるバスツアー」

(3/24 自然耕房あおき: 京丹後市)

(内容) ・有機栽培を活用した食の安全・安心や素材をすべて活かすことを学ぶ

・これまで捨てていた部分や半端な野菜のおいしい活用によるごみ減量を学ぶ

・自然環境変化による獣害(イノシシ・シカ)の現状やその対策を学ぶ

○ 出前講座の実施

・「地球温暖化の現状やエコライフの取組み」(6/7 大阪府大栄養療法学専攻学生)

・「地球温暖化の現状、エコライフのコツ、地球も人も健康になれる食のあり方」

(9/25 大阪区民カレッジ城東校)

・「地球環境と私たちの暮らし」(11/8 大阪府立咲洲高校)

(2) 環境教育・啓発部会

毎年実施している「環境活動ふれあいひろば」や「おおさか環境科出前講座」、「地域での環境イベント」などを開催・参加し、若い世代や地域と連携した環境教育・啓発活動を推進しました。環境出前講座を積極的に推進するために、メニューの更新を行いました。

① 部会の開催

毎月1回(計12回)開催し、平成28年度活動の振り返りや平成29年度活動方針・事業計画について、また、主催、参加イベントについて活発な意見交換を行いました。

② 活動概要

- マイバッグキャンペーン(延べ7日・7店舗)(環境局、エコライフ部会と協働)(再掲)
- 区等他団体主催のイベントに参加・協力
 - ・大阪市こどもカーニバル2017(4/23:大阪城公園・太陽の広場):
エコすごろく、野菜の種あてクイズ、エコ工作
 - ・住之江区民まつり(7/19:住之江区役所前広場):下水道クイズ
 - ・なんばエコプロジェクト2017(7/22:ヤマダ電機LABIなんば):
夏休みエコ体験&工作教室(大阪環境カウンセラー協会との協働)
 - ・鶴見区民まつり(9/10:鶴見緑地公園ハナミズキホール):エコすごろく
 - ・港区民まつり(10/8:八幡屋公園):エコすごろく、エコクラフト
 - ・ガレージセール・イン・OSAKA TOWN(10/14:大阪城公園・太陽の広場):
エコすごろく、エコクラフト
 - ・クレオフェスタ in クレオ大阪東(10/28:男女共同参画センター東部館)
風呂敷包み方講座、手回し発電(白熱・LED比較)
 - ・ECO縁日(11/4:鶴見緑地公園):エコすごろく、なにわエコ会議活動紹介
(大阪環境ネットワーク団体としての展示、エコライフ部会と協働)
 - ・山田くん家のグリーングッドな一日(2/12:ヤマダ電気LABIなんば):
手回し発電で電車をGO!
(主催:大阪市、協力:大阪環境ネットワーク会議・エコボランティアなど)
- 出前講座「夏休みの自由研究 おおさか環境科」(8/10,11:ATCグリーンエコプラザ)
(大阪環境カウンセラー協会・環境事業協会・大阪市立小学校南港地区との協働)
(大阪市大「CHOVORA!」・大阪大学「アイセック大阪」:ボランティアGとの連携)
 - ・環境副読本「おおさか環境科」を使った、親子参加の学習会(講義、観察、体験)
 - ① 「木の声を聞こう」(8/11午前)
 - ② 「川の中の生き物」(8/11午後)
 - ③ 「地球温暖化とわたしたちの暮らし」(8/12午前)
 - ④ 「へらそうごみ」(8/12午後)
- 環境ふれあいひろば in 東住吉(11/23:東住吉区民ホール)
(区役所、地域団体、環境活動団体、企業、エコライフ・企業部会などとの協働)
(大阪湾広域臨海環境整備センターからの助成金事業)
 - ・平成29年度なにわエコ会議賞表彰式、LINEスタンプお披露目
 - ・環境アイドル「ぼぼっぼくらぶ」のコンサート、活動報告
 - ・エコ工作 ・あそんで学ぶ食育 ・エコバックづくり ・木材と友だちになろう
 - ・川の水を汚すのは、誰だ! ・冷熱実験:マイナス196℃にチャレンジ・クイズ
 - ・自然工作 ・手回し発電で電車を走らせよう ・エコすごろく&エコクラフト
 - ・アクセラーづくり&妖精さんとお友達になろう ・パネル展示
 - ・クイズにチャレンジ ・スタンプラリー
 - ・スタンプラリー
 - ・同時開催:「おんだんかてきおう」ものしり博士になろう!
(主催:大阪府、協力:大阪市、なにわエコ会議など6団体)

(3) 環境に配慮した企業部会

昨年に引き続き、大阪市環境経営推進協議会と連携し、「エコアクション 21 の普及セミナー」や「二酸化炭素削減コンペ」と表彰式（大阪市長との連名）、セミナー、事例発表会を実施するとともに、企業向け「電気の省エネ対策集」（冊子）を製作し、地球温暖化防止など企業の環境への取組みを促進しました。

① 活動概要

○ CO2 削減コンペ

- ・内 容 : 地球温暖化の緩和に向け、事業者の取組みとしてコンペを実施し、優秀な企業を表彰しました。
- ・実施期間 : 平成 29 年 7 月～9 月
- ・参加事業者 : 27 社
- ・表彰式・省エネセミナー・省エネ事例紹介 (1/22 : 中央公会堂)
 - ・表彰 : 8 社 (うち 2 社 : 大阪市長・なにわエコ会議会長名の連名表彰)
 - ・省エネセミナー : 省エネでコスト削減
 - ・省エネ事例紹介 (受賞 2 社) : 具体的な省エネ、内容、効果、苦労話など

○ エコアクション 21 スクールの開催

- ・エコアクション 21 (環境省が策定した環境経営システム) の認証取得及びレベルアップを支援するための EA21 スクール (4 日間、2 回) を開催するとともに、エコアクション 21 CO2 削減プログラムに、スクール参加の 9 社が取り組まれ、講師による現場視察、事業所に見合った省エネ対策のアドバイスを受けました。
 - 第 1 スクール : 6/7 7/5 8/2 9/6 (参加者 8 社)
 - 第 2 スクール : 10/4 11/8 12/6 1/10 (参加者 10 社)

○ 出前講座の実施 (講師の派遣)

- ・「事業所の節電・省エネと家庭のエコ活動」(10/12 : ベッセル工業・城東区)
- ・「事業所におけるごみ減量への取組み事例と我が家のエコ活動」
(11/21、11/28 : 大阪市廃棄物減量推進員向け研修会)

(5) 事務局関係

○ 他の環境団体主催のイベントへの協力

- ・大阪市ごみ減量市民交流会 in 大阪 2017 (主催 : 大阪ごみ減量推進協議会)
(2/15 : 大阪産業大学梅田サテライトキャンパス)
事例発表会、交流会 (ごみ減量、3R の進め方など)

○ 出前講座の仲介

- ・北区大淀老人福祉センター (11/29) : 「ごみと暮らし」
- ・北区大淀老人福祉センター (12/15) : 「ツバルの現状と地球温暖化」

4. エコパートナー会員の状況

	平成 27 年度 (3 月末現在)	平成 28 年度 (3 月末現在)
	会 員 数	会 員 数
個人会員	49	46
団体、NGO/NPO 会員	14	12
事業者団体	11	10
合 計	74	68